



# 七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 40

平成25年 3月 1日

## 卒業特集号



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。上の写真は、平成25年2月22日に七校から撮った不忘山です。3年間、あなた方を見続けてくれた山です。校舎も、仲間も、この町も、周りに広がる自然も、そして何より、通い続けた学校の思い出を、いつまでも忘れないでください。

### 予餞会

2月15日（金）に予餞会がありました。とても楽しい会でした。会に先立ち、阿部 倫子さんが皆勤賞（3年間欠席・遅刻・早退を一度もしなかった）、高橋 直道君が精勤賞（3年間一度も欠席をしなかった）を受賞しました。二人ともとても立派です。

予餞会では、下級生や職員などによる、趣向を凝らした出し物が披露されました。



有志の合唱『旅立ちの日に』



1年生バンド 『愛唄』



2年生バンドのボーカル 『虹』



ギターは担任の永井先生 『銭形平次』



職員合唱 中島みゆきの『時代』

## 【副校長より】

『星の王子様』という大変有名な童話があります。王子様は地球にやってきて、色々あって、キツネと仲良しになります。キツネは『賢さ』の代表として描かれています。

キツネは、『仲良しになる』とは、『他の同じようなものとは違う、特別なものと考えること』であると、王子様に言います。王子様は、自分の星に残してきたバラの花が、地球で見た何千本ものバラの花とは、全く違う特別な存在であることに気がきます。

皆さんは、七校で仲間達に出会い、3年間ずっと一緒に教室で過ごしてきました。今日一緒に卒業する12人のクラスメイトは、他の人達とは全く違う存在です。泣いたり笑ったり、喜んだり悲しんだり、好きになったり嫌いになったり、喧嘩したり仲直りしたり、そういうことの繰り返しですが、いつの間にか、お互いを特別な存在にしているのです。このつながりを、いつまでも大切にしてください。

やがて、王子様とキツネが、お別れする日がやって来ます。その時、キツネは、いつか教えてあげると約束していた秘密を、王子様に明かします。

「なに、簡単なことだよ。心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。大切なものは、目に見えないんだ。」

『大切なものは、目に見えない』  
私の大好きな言葉です。

## おまけ



1年担任の菊地 賢一先生 入学式にて